

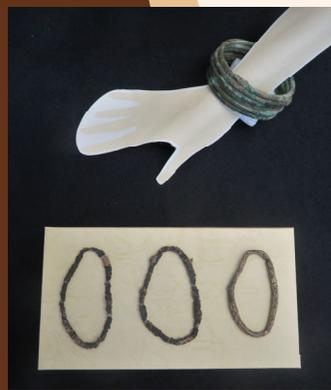
→ 子どもが身に着けた？ 国内最古級のメタルアイテム

～ここにも遺跡！～

城南区神松寺
カルメル
修道院遺跡

かつてカルメル修道院があった神松寺三丁目付近には、丘陵上に弥生時代の墓が営まれていたことがわかっています。これまでの発掘調査で100基を超える木棺や甕棺などがみつかりました。

今から2300年以上前の木棺墓からは、白く腐食して脆くなった釧（腕輪）が3点重なった状態で出土しました。釧は錫を主成分とする金属を鋳型に流し込んで作ったもので、本来は銀色に輝いていました。西区吉武高木遺跡（やよいの風公園）などでみつかった青銅器よりも古く、国内最古級の金属器といえます。



カルメル修道院遺跡出土 錫釧
大きさは縦6～7cm・幅4cm前後

さらに興味深いのは、棺と釧の大きさからみて、墓に埋葬されていたのが子どもであったことです。この希少なメタルアイテムは、村の指導者となることを囑望された、選ばれた子どもの

存在をモノ語ります。

埋蔵文化財センター企画展「第二の発掘」で2月末まで展示中！
展示終了後は、福岡市博物館常設展示にて公開予定です。

→ 3月のイベント情報

1日 県指定無形民俗文化財 飯盛神社かゆ占
(西区大字飯盛 飯盛神社)

26日 埋蔵文化財センター速報講座
「発掘調査総まくり」

講師：福岡市文化財活用部職員

※ 予約が必要です！

詳細は下記ホームページをご確認ください。

福岡市埋蔵文化財センター ホームページ

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/html/>



獅子頭修理完了記念イベント おしし、しつとーと？

①展示「おしし大集合～家々を訪れる獅子頭」

会期 3月15日(火)～4月3日(日)

会場 福岡市博物館 みたいけんラボ

②小学生向けワークショップ 会場 講座室1

「はらってまわる博物館－お獅子パワーで疫病退散」

日程 3月19日(土) 会場 福岡市博物館 講座室1

③講演「家を廻る獅子のパワーに迫る」

日程 3月19日(土) 会場 福岡市博物館 講座室1

※②・③は予約が必要です。

申込は2月9日から開始

詳しくは市政だより2月15日号、

「福岡市の文化財」ホームページを参照。



福岡市経済観光文化局文化財活用部

住所：福岡市中央区天神1-8-1

TEL：092-711-4666 FAX：092-733-5537

文化財の保存・管理・活用に関すること

文化財活用課 TEL：092-711-4666

史跡の整備・活用に関すること

史跡整備活用課 TEL：092-711-4784

埋蔵文化財の発掘調査・手続きに関すること

埋蔵文化財課 TEL：092-711-4667

埋蔵文化財の収蔵・保管・分析に関すること

埋蔵文化財センター TEL：092-571-2921

ホームページ 福岡市の文化財

<https://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/>

Facebook「福岡市の文化財」でも情報発信中！



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



歴史の風 ふくおか文化財だより
Vol.37 2022年2月号
～獅子頭が市博に大集合～

おしし、しつとーと？

～福岡市の祓い獅子行事～

前号で紹介した夏に行われる「祓い獅子行事」は、疫病退散を主な目的として始まったとされ、現在でも市内約30箇所継承されています。担い手に多くの子供たちが関わっているところも多く、地域コミュニティの活性化にも寄与していることも評価されています。平成30・31年度に、24件の行事が福岡市登録無形民俗文化財に登録されました。



獅子頭の修理



専門家に意見を求めながら修理をすすめます

今年度は、文化庁の補助制度を活用して、祓い獅子行事で使用される獅子頭14体を修理しています。令和4年3月に修理が完了することを記念して、福岡市博物館にて展示やワークショップ、講演などのイベントを開催します。詳細は、裏面「イベント情報」をご覧ください。

地域で大切に守られてきた獅子頭から、疫病を祓い、当たり前の日々を願った人々の想いを感じてください。

→ **鴻臚館遺響** ～古代の美味に舌つづみ～



いよいよイベントスタート！ 提供された古代食

10月号で紹介した、鴻臚館の時代の料理を復元・アレンジする事業の一環として、昨年11月に、鴻臚館での饗宴をイメージした古代食イベントを行いました。題して「鴻臚館遺響」！

古代衣装をまとったスタッフに出迎えられたご参加の方々は、鴻臚館跡展示館の野外に設置された特別席へ。まずは「たたきエビとカブの粕汁(①)」で体を温め、次に「猪すり身の香味あぶり」、「焼き豆腐のクルマ味噌田楽」など7品(②)が提供されました。メインは「鯛のワカメ包み蒸し焼き」(③)です。汁椀、ご飯と続き、デザートは「干し柿の栗あん包み」と「蘇(乳製品の一種、レシピは10月号参照)」(④)です。

食材は、発掘調査や文献資料から判明したものを使用しました。当時は料理を塩や酢、醬(古代の調味料)などにつけて食べていましたが、今回はアレンジして下味をつけ、美味しく食べられるように工夫しました。

→ **身近な遺跡を掘り下げてみませんか**
～埋蔵文化財センターだより①～

コロナ禍で不要不急の外出が控えられる中、身近な「遺跡」について、考えたり調べたりするヒントやきっかけになればと、簡単な案内書を2つ作成して、埋蔵文化財センターホームページで公開しています。

①『「福岡市の考古学」スタートブック』

考古学ってなに？発掘ってなに？といった素朴な疑問を、自分で調べて広げていくためのヒントをまとめています。



②『自由研究ガイド』



遺跡とのふしぎなつながり大発見！本市の遺跡のweb地図(通称：まいぶんマップ)を使った、身近な遺跡の調べ方を説明しています。

遺跡のおもしろさは、「自分で調べて、発見ができること！」です。皆さんも、身近な遺跡への理解を掘り下げて、自分だけの新しい発見をしてみませんか。

これらの資料はこちらからダウンロードできます。ぜひご利用ください！



→ **火の用心！火起こし道具を展示中**
～埋蔵文化財センターだより②～



展示中の火起こし道具(西区元岡・桑原遺跡群出土)

現在、埋蔵文化財センターのロビーでは、奈良時代の木製火起こし道具を展示しています。



火起こし道具の使い方

火きり臼のくぼみが黒く焦がっています。

火きり臼とよばれる板に浅いくぼみをつくり、そこに棒状の火きり杵を差し込み手で回転させることで、摩擦熱から火を起こします。出土品も火きり杵の先端

令和4年3月末まで展示していますので、ぜひ見学にお越しください！

遺跡から出土した火起こし道具は、展示のほか、センターが市内の小中学校で実施している出前授業において



出前授業での火起こし体験

でも活躍中です。実物を見て、その使い方を想像しながら再現した道具を用いて実際に火起こし体験を行ってもらうことにより、子どもたちに昔の暮らしの一端を伝えています。